



新潟青陵幼稚園だより

令和4年度
5月号
4月25日

園庭に畑を作り，野菜栽培を始めます

園長 太田 伸男

幼稚園教育は、環境の中での遊びを通して行われます。環境の一つである畑での野菜栽培について、新潟青陵幼稚園の取組を紹介します。

園舎東側の道路沿いに、細長い畑があります。縦に短く 15 本くらいの畝ができます。ここには、毎年、全園児でサツマイモを育てています。また、年中・白ばらの子どもたちがジャガイモを育てています。今年は園庭が広がったので、採れたサツマイモを焼き芋にできたら良いと思います。



さらに、黒崎の青陵学園グラウンドの一角に広い畑があります。ここは、年長・青ばらの子どもたちのジャガイモ畑です。畑の周りには草が生い茂り、近くに細い用水路もあります。4月13日（水），園バス1台に1組・2組の子どもたち43名が乗り込んで、ジャガイモ植えに行ってきました。幅の広いマルチのかかった畝が2本あり、全部で100個ほどの種芋を植えました。大きく育ったジャガイモの収穫を、今から楽しみにしています。

今年度はもう一つ、拡張した園庭に新しい畑を作ることになりました。短大側のフェンス脇の場所を、ブロックで約 2.5m×5mの長方形に囲みます。園庭が砂地なので、石灰をまき、堆肥を3割ほど入れて地質を改良していきます。職員で協力して土を耕し、畝を6列作ります。



この畑には、誰が何を植えるか、まだ決まっていません。子どもたちから「オクラを植えたい。」「枝豆もいいよね。」という声が聞こえてきます。園児の自主性を大事にしたいと思います。いろいろな野菜を育てることで、野菜ごとの特徴が分かり、他の野菜との違いに気づくことができます。

実のなる野菜を育てるには、たくさんの世話が必要です。毎日水やりをし、雑草が生えたら抜き、背が高くなったら支柱を立てなければなりません。元気がなかったら、追肥をします。きれいな花が咲いたり、実がついたりするのを見付けたら、子どもたちは感動することでしょう。

実がついた後は、虫を取り除いたり、鳥を追いかたりしなければなりません。子どもたちは、どうしたら被害を防げるか考え、試行錯誤していくことと思います。

採れた野菜は、苦労した分だけおいしく感じられるはずです。前任園では、野菜栽培をしたことで、苦手になっていた野菜が食べられるようになったお子さんがいました。

砂地に作る畑なので、野菜がうまく生長してくれるかどうか不安もありますが、幼稚園職員は子どもたちが世話を継続することで、野菜への親しみを感じ、粘り強さを身に付けられるように支えてまいります。

新たな取組に、保護者の皆様からご理解いただけますよう、よろしくお願いいたします。

5月の予定 給食：○全園児 ★星の子

日	曜	給食	降園時間	行事
1	日	／	／	
2	月	○	14:30	
3	火	／	／	憲法記念日
4	水	／	／	みどりの日
5	木	／	／	こどもの日
6	金	○	14:30	
7	土	／	／	
8	日	／	／	
9	月	○	14:30	赤ばら1組学級懇談会
10	火	○	14:30	赤ばら2組学級懇談会
11	水	★	11:30	誕生会 4月生まれさんのおうちの方も一緒にお祝いしましょう。
12	木	○	14:30	定期健康診断
13	金	○	14:30	
14	土	／	／	
15	日	／	／	
16	月	○	14:30	青陵大幼児教育学科の実習開始 よろしく願いいたします。
17	火	○	14:30	
18	水	★	11:30	誕生会 5月生まれさんのおうちの方も一緒にお祝いしましょう。
19	木	○	14:30	
20	金	○	14:30	
21	土	／		森と海の探検隊 詳細は各クラスからのお便りをご覧ください。
22	日	／	／	
23	月	○	14:30	
24	火	○	14:30	
25	水	お弁当	14:30	森と海の探検隊予備日 お弁当をお持ちください。
26	木	○	14:30	
27	金	○	14:30	
28	土	／	／	
29	日	／	／	
30	月	○	14:30	
31	火	○	14:30	